

2018 川崎港トライアスロン in 東扇島大会

オペレーションマニュアル 【スイム】

【審判用】

第 1.2 版

作成者	陣川 学士
作成日	2018年10月8日
最終更新日	2018年10月19日

目次

2018 川崎港トライアスロン in 東扇島大会	1
目次	2
体制	3
1. TO・ボランティア一覧	3
会場・コース	4
1. スタッフ配置図	4
2. コース設営図	5
業務詳細・留意事項	6
1. 共通事項	6
2. 業務別詳細および留意点	6
3. 救護を要する選手の対応	7
4. 制限時刻対応	7

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)

体制

1. TO・ボランティア一覧

チーフTO/サブチーフTO一覧

名前	ポジション	役割	連絡先
今橋尚也	チーフ	全体統括 ※要水着、ボランティアお迎え	
和田桂子	サブチーフ	水上監視(IRB乗船) ※要水着	
稲田隆俊	サブチーフ		

TO一覧および担当エリア

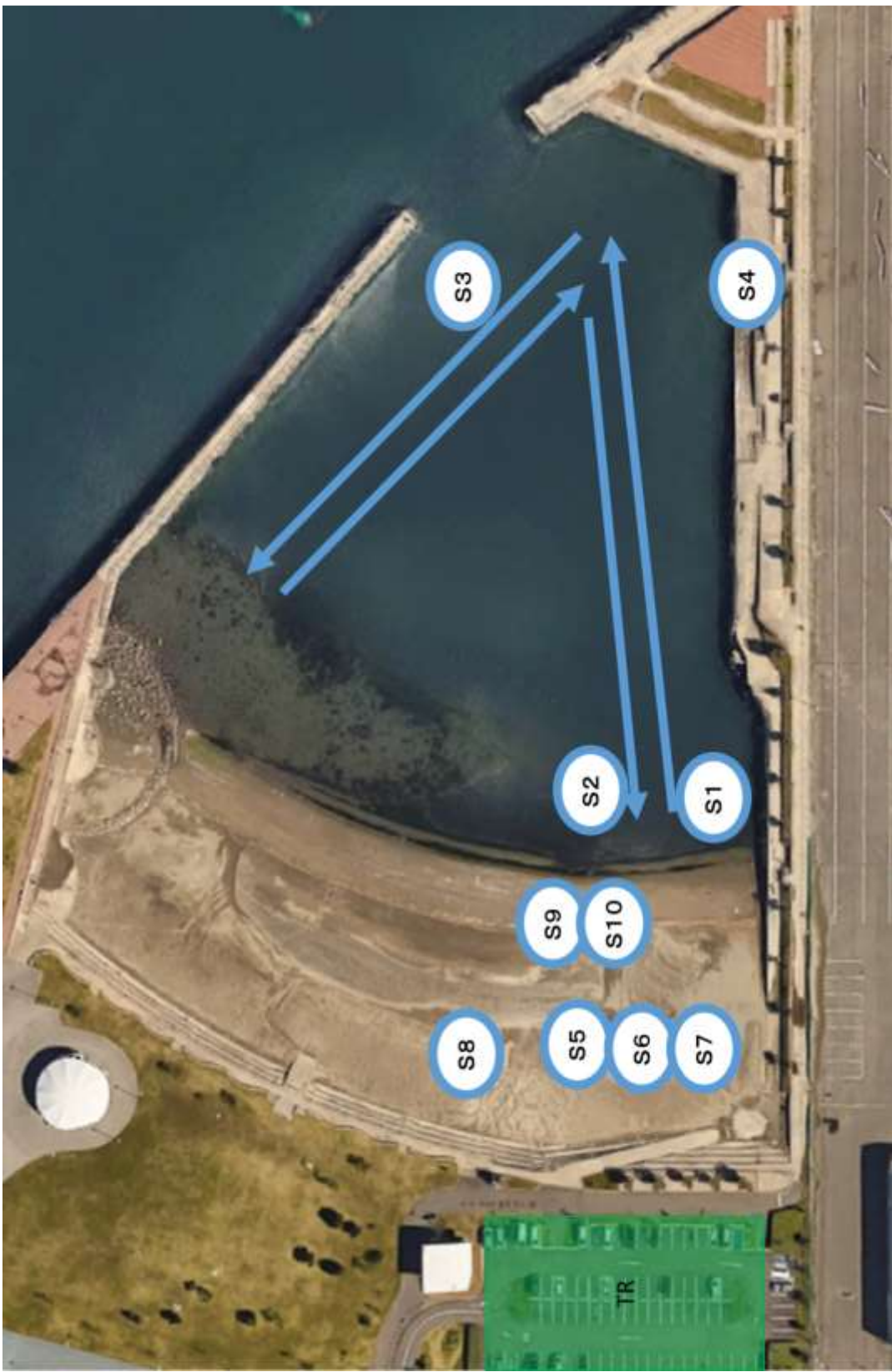
名前	ポジション	担当・役割	備考・備品
岩田聖市	S1	岸辺の水中待機、試泳コントロール、 スターター(審判長と調整)	トラメガ(1)、スタートホーン(1) ※ウェットスーツ着用
榊幸喜	S2		
加藤一美	S5	アンクルバンド渡し、ボランティア指揮 ウェーブごとの整列、スタート位置への誘導	
鶴見耕市	S6		
中尾聡志	S7		
亀山秀紀	S8	アンクルバンド管理、DNS・DNFとり まとめ	
亀村一郎	S9	輪ゴム回収	
	S10		

ボランティア一覧および担当エリア

ポイント名	人数	担当・役割	指揮担当 TO
		アンクルバンド渡し	
		輪ゴム渡し	
		トランジションへの動線案内	
		エイド	

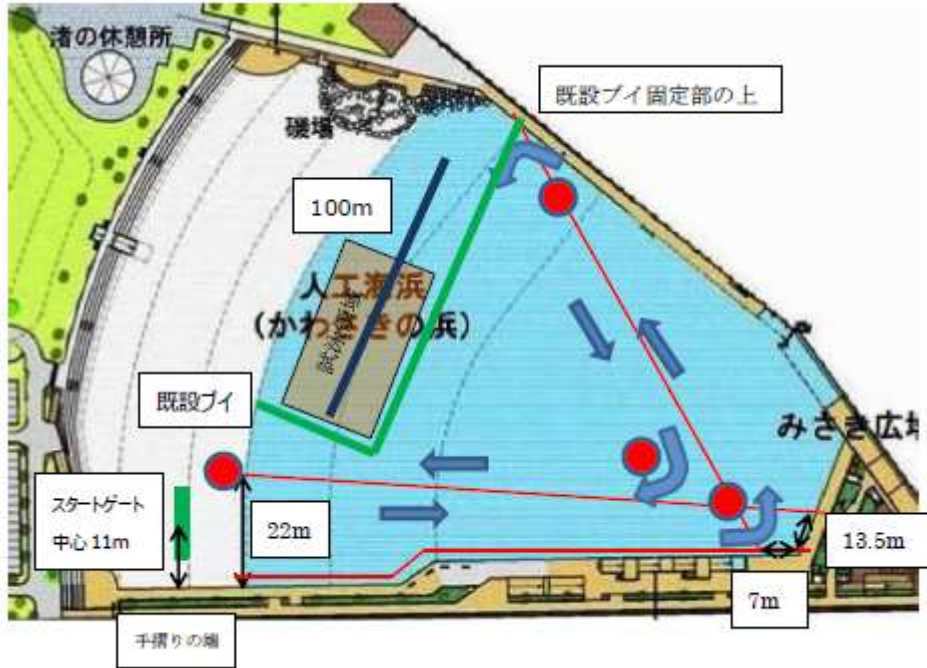
会場・コース

1. スタッフ配置図

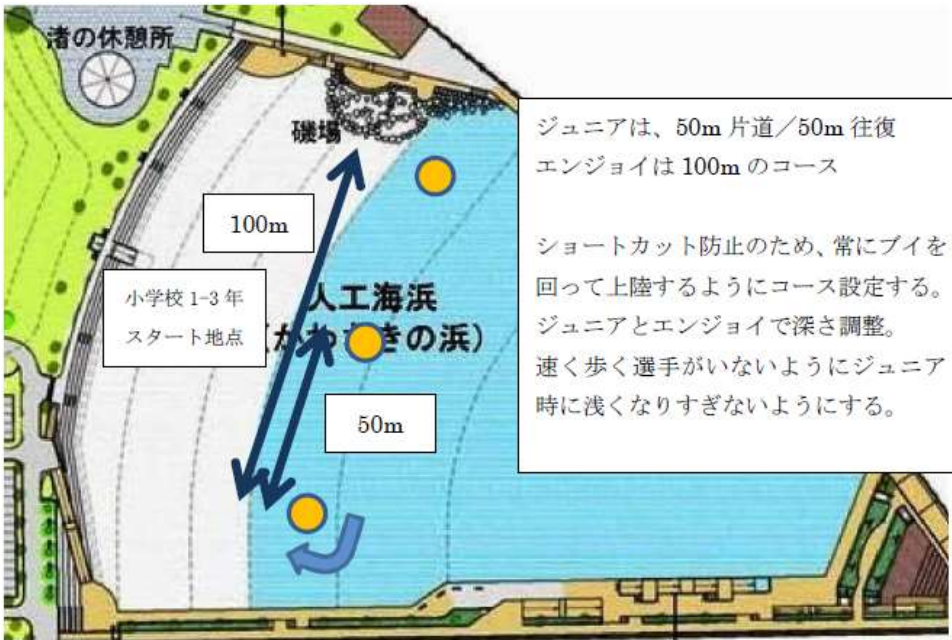


2. コース設営図

- スタートゲート、オリンピックディスタンスのブイ、コースロープの位置



- ジュニア、エンジョイのブイ設定



業務詳細・留意事項

1. 共通事項

- ・ コース設営
 - ・ 会場設営図に従ってスイム担当 TO にて設営を行う
 - ・ スイムスタート会場近隣の砂浜に貝殻や浮遊ゴミがあるため、事前に竹箒等で清掃すること
 - ・ キッズ及びジュニアのコースづくりは極力、牡蠣・貝類が少ないエリアを選択すること
 - ・ チーフの指示により、コース設営転換作業を実施
- ・ 業務担当
 - ・ 各 TO は主担当の業務を行う
 - ・ 各ポイントの近隣 TO の業務を把握し、緊急時等にサポートできるように準備しておくこと
 - ・ スイムスキップはリレーのみ可

2. 業務別詳細および留意点

業務・ポイント名	担当者※	業務詳細・留意事項
水温計測・報告		7:00 計測、掲示板にて計測内容の報告を行う
アンクルバンド渡し		<ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリ別、レースナンバー順にアンクルバンドを並べる ・選手がレースナンバーを告げたら、レースナンバーを復唱しながら選手にも確認を促しながら渡す ・DNS を申告した選手情報をまとめる
選手整列・誘導		<ul style="list-style-type: none"> ・ウェーブごとに選手を整列させる ・スタート位置へ誘導する
DNS・DNF・スイムスキップ管理		<ul style="list-style-type: none"> ・DNS を申告した選手のレースナンバーを聞き取り、スタートリストにチェックをする ・スイム DNF (リタイア、タイムオーバー) 選手からアンクルバンドを回収し、スタートリストにチェックをする ・スイムスキップ (リレーのみ) を申告したチームのレースナンバーを聞き取り、スタートリストにチェックする。バイク担当選手にスタンバイ場所と時刻について説明する。 ・DNS、DNF の選手リストをとりまとめ、大会本部に報告する。(報告時刻、報告方法)
競技説明		コース解説、スイムキャップ着用確認、アンクルバンド着用方法の説明、レースナンバーの確認、制限時刻
スタート前選手確認		<ul style="list-style-type: none"> ・入水人数確認(カウンターでのチェック) ・アンクルバンド着用確認 ・スイムキャップ着用確認
スタート管理		スタート号砲 スタート時フライングチェック、(フライング発生時の判断、レースナンバーチェック、対応) スタート時刻報告

スイム競技審判		スイムショートカットのチェック、コースロープの取り扱いチェック
周回チェック		オリンピックディスタンスのみ。上陸時に輪ゴムを手渡す、および回収を行う
先頭選手スイムアップ報告		各ウェーブ先頭選手のスイムアップ時に報告
コースロープの位置替え		チーフの指示により、コース転換を行う
エイド		
トランジションへの選手誘導		

※担当者は、適宜分担する。

3. 救護を要する選手の対応

- 救護を要する選手は、ポイントS4よりピックアップする
- 他は競技運営マニュアルに準じる

4. 制限時刻対応

- 最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。(基本的にはできるだけ完走してもらう)